



## パソコン部、市役所に取材!?

### 身近で意外と知らない北方領土



パソコン部は市役所の職員さんが北方領土にビザなし交流に行つたという記事に興味を持ち、市役所に取材に行った。実際にビザなし交流に行つた市民活動課の大谷課長と同じく市民活動課の矢吹さんが質問に答えてくれた。

今、日本はロシアに対して、「北方領土返還運動」を行っているが、ロシアの方々は、反発

しており、2008年までは抗議集会を行つていた。逆に北方領土の「返還反対運動」を起こしているらしい。

日本から、ロシアや北方領土への渡航が認められており、「この北方領土返還運動を実現させ、北方領土の問題を解決するまでの間、日本国民とロシア人との相互理解、そして友好を深めるために、ビザなし交流を行っている」と、矢吹さんと大谷課長は語る。ロシアの方々と市民同士の交流で強硬な態度はなく、とても優しく接し



右が大谷課長、左が矢吹さん↑



者を大いにもてなしたりなど、来訪をものすごく大事にしてくれたそうだ。現地の人の人たちとは、「日本食は何が好き?」とか、「日本で行きたいところは?」や、「アニメは何が好きか?」などの事を話したいらしい。



## 実際の質問とその答え

実際に質問した25個の質問の中から6個ほど掲載してみる。

**Q** ビザなし交流に行つた人たちはどのような立場の人達だったのか?

**A** 北方領土に住んでいた人やその子孫の方々や、北方領土返還運動の関係者、報道関係者、資源や歴史に関する専門家など、様々な人がビザなし交流に参加した。

**Q** 軍艦が止まっている以外に見えた「ロシア化」は何かあるか?

**A** 大型の複合施設ができていたり、空港もできていて、ロシア人が住んでいた。そのほかにも日本人の墓の近くにロシア人の墓が置かれていたこと。

**Q** 旭川市民でもと島民の方は何人いるのか?

**A** 正確な人数はわからないが、矢吹さんの知り合いにも数人いて、上川管内では、100人ほどいるとのこと。元島民の方々の団体もあるが全員はいないという。

**Q** 北方領土ではどのような通過が使われているのか?

**A** 単位は「ルーブル」と「カペイカ」があり、ルーブルは日本円に直すと約二円で、種類は10ルーブル、20ルーブル、100ルーブル、500ルーブル、1000ルーブル、5000ルーブルがある。カペイカは1ルーブルで100カペイカ。種類は5カペイカ2カペイカ、1カペイカがある。ちなみに、北洋銀行で日本円をルーブルにかえることができる。

**Q** 北方領土には、どのような企業があるのか?

**A** 主要産業である、漁業や水産加工業に関係している企業が多い。

**Q** 北方領土についてこれからどうなつてほしいと思うのか?

**A** 経済面で協力してほしい。北方領土でとれる海産物である、昆布やホタテなどを使ってビジネスをすればいいと思う。

## 今回の取材のまとめ

今回の取材でわかつた事は、「やはり、領土問題は、外交レベルの問題であり、国のトップが話し合うことである」ということ。「北方領土返還運動」に対して、ロシアの方々はこの運動に反発しており、逆に、「返還反対運動」を起こしていたと聞く。このようなことが起きない問題なのではないのか?」と思う。北方領土は日本人の故郷でもあり、ロシア人の故郷にもなりつつある。北方領土返還が実現しても、それと同時にロシア人の故郷も奪うことになる。

北方領土返還には、まだ知らない問題がたくさんある。この事を知らない人に伝えるために、市の職員の方々は、小中学校で出前授業を開き、訪問したときのことなどを伝えていく方針だ。



記念に市役所前で集合写真を撮つた。↑

## お昼の出来事 (悲劇?)

我らパソコン部は、取材を終えた後に街中のラーメン屋に行こうとしていた。部員の一人が三軒まで、ラーメン屋の候補を挙げていた。しかし、一件目はスープが売り切れて完売、二件目は行列が出来ていたので諦めた。そして三件目は、なんと準備中だった。結局、顧問の先生が知っているおいしいお店に行き、パソコン部は無事、学校に戻った。

候補に挙がっていたラーメン屋で食べられなくて残念に思ったが、昼食を済ませることができて安心した。

